ハビタット福岡市民の会　ニュースレター　発行 ２００９年4月１６日

Citizens Net for UN Habitat Fukuoka
ハビタット福岡市民の会

２６号の主な内容

■総会および交流会を開催
■轟さん講演会（１月例会）
■ハビタット工学国際シンポジウム
■職員紹介（轟由紀さん、東さやかさん）
■今後のスケジュール、お知らせなど

第26号
http://cnhf.npgo.jp

■総会および交流会を開催

２００９年２月26日（木）ハビタット福岡市民の会の総会および交流会をアクロス福岡地下のグランチャイナ（中華バイキングレストラン）で開催した。

総会では、第１号議案として、２００８年の活動報告と会計報告が承認されたあと、第２号議案の２００９年活動計画および第３号議案の運営委員が承認された。

○2008年度会計報告

〈収入の部〉

前期繰越し	85,741円
会費収入	77,000円
雑収入	5,724円
収入合計	168,465円

〈支出の部〉

ニュースレター印刷費	29,755円
市民どんたく負担金	13,000円
郵便振替手数料	2,960円
FUKUNET年会費	2,500円
切手代	2,000円
のり・雑費	105円
次期繰越し	117,545円
支出合計	168,465円

○2009年度活動計画

定例会を毎月原則として第3木曜日に実施
ニュースレターを4月、7月、11月に発行
地球市民どんたくに出展（10月）
国連ハビタット福岡本部の行事への協力
国連ハビタット福岡本部との交流会を実施
などを計画。詳細は、４ページを参照ください。

○2009年度の運営組織

代　　表　牟田慎一郎
副 代 表　佐竹芳郎
事務局長　諸藤恵子
会　　計　山前隆
運営委員　山口明巳、橋詰順一郎
幹　　事　島祐二郎

総会に引き続き、国連ハビタット福岡本部の職員にも加わっていただき、交流会を行った。

国連ハビタット福岡本部からは、お忙しい中、バラットさん、轟由紀さん、薄さんらに参加いただき、楽しいひと時を共有した。

バラットさんのこれまでの豊富な経験談、轟さんのスリランカなどでの活動のお話し、薄さんのロボットを中心にした趣味のお話しなど、幅広い活動と興味深い話しに、閉店時間が来たのにも気づかず、聞き入ってしまいました。

参加された国連ハビタット福岡本部職員のみなさん、ハビタット福岡市民の会会員のみなさん、ありがとうございました。（牟田）

■轟由紀さん講演会を開催

２００９年１月２０日１９時から中洲川端中央商店街振興組合事務所会議室において、「ハビタット福岡市民の会」とセミナー企画室「コスモポリタンズ」の共催で国連ハビタット福岡本部の轟由紀さんによる「スリランカの現状と国連ハビタットの活動」と題した講演会を開催した。大変中身の濃い内容で下記にその要点を紹介します。

（１）スリランカの現状

２００４年１２月２６日津波に見舞われ、３万１千人が死亡、１４万戸の家屋が壊れました。スリランカでは２５年間タミール人の過激集団と内戦が続いています。そのため、その復興支援が求められています。

（２）国連ハビタットの活動

轟由紀さんは、スリランカで２年間（２００６年１１月～２００８年１１月）国連ハビタットの復興支援に従事しました。①津波の復興支援としては、１万戸の住宅再建、コミュニティーの形成、自治能力強化、インフラ整備及び生計支援の実施をしました。ハビタットが造った家は薪で料理ができるように煙突がある家を造りました。一戸当たり５０万円位でできます。②紛争後帰還した国内避難民の支援としては、早く住んで働けるように当面家の一部の建設（６０㎡の内２０㎡のみ）と職業訓練を実施しました。③円借款事業の住民移転支援としては、住民による移転地のインフラ整備、夫が全部使わないように夫婦共同名義の口座に補償金送金などを行いました。

現地で働いて感じたことは、①成功の鍵は、やれることからやり成果を見せること。②現地で働くことの難しさは、プロジェクトの進捗で毎日が時間との競争になる。③スリランカ人の生活と精神は、一人一人が抱えている重荷、思いやりの精神、一瞬一瞬を楽しむ心などです。

これを聞いて、国連ハビタットのユニークで細やかな支援方法に感心しました。轟由紀さんにはお忙しいところを講演頂きありがとうございました。（佐竹）

■ハビタット工学国際シンポジウム

『アジア都市・建築―持続化への挑戦―』

２００９年３月２８日（土）１０時より、エルガーラ８階大ホール（福岡市中央区天神）にて、大学院GP「アジア都市問題を解くハビタット工学教育」と九州大学大学院人間環境学府主催、国連ハビタット福岡本部（アジア太平洋担当）共催によるハビタット工学国際シンポジウム2008が開催された。

本シンポジウムでは、環境負荷低減、特に低炭素社会実現が急務とされるアジアの都市・建築における持続化を目指して、国連ハビタットによる国際支援や実践的取り組み、大学での先端的研究、中国、韓国での最新の取り組み状況についての発表を通して、考え方を共有し、政策的課題や国際協力による教育研究の方向性を明らかにするために開催されました。

基調講演をする野田国連ハビタット福岡本部長

まず基調講演を野田順康氏（国連ハビタット福岡本部長）が「アジアの都市の現状」と題して行いました。現在、国連ハビタットでは都市を成長のエンジンとして貧困を無くしていこう、またコミュニティが自分で家を造る方が安くて応用が効くのでその方針で取り組んでいると話されました。

その他、大学院生・研究者による研究発表（3件）、彭震偉氏（中国・同済大学教授）が「上海首都圏の郊外における持続可能な開発と計画」、龍惟定氏（中国・同済大学教授）が「中国のビルディング・エネルギー：低炭素化社会に向けて」、李政宰氏（韓国・東亜大学教授）が「都市持続性のための総合エネルギーシステムに関する規制と建設技術の発展」、李相珍氏（韓国・東亜大学准教授）が「都市計画の法令・規則にエネルギー概念を適用する基本原理」の各講演及びパネルディスカッション（2件）が行われました。

二酸化炭素、エネルギーを減らすには、コンパクトシティに住むべきである、郊外に人々が移転できる副都心を造るべきである、また、化石燃料の使用を制限し太陽熱発電や風力発電をもっと利用すべきである、そしてその験証やモニタリングをしていかなければならない、色々な分野の総合化が必要である、人材教育が必要である、「ハビタット工学」のネットワークが必要であるというような意見が出されました。大変密度の濃いシンポジウムでした。（佐竹）

■職員紹介 今回は、東さやかさんと轟由紀さんの登場です

■東さやかさん

○ご出身はどちらですか？
→福岡出身です。
○どこの大学で何を勉強なさいましたか？→東京の大学で国際関係学を学び、その後ロンドンの大学で国際政治と国際法を学び修士号を取得しました。特に移民と難民の保護に関して学びました。
○今までの経歴をお聞かせください。→大学院卒業後、東京にある国際 NGO の日本事務局で３年半ほどユースや女性のエンパワメントに関する仕事に従事していました。それからハワイにある研究所に所属し、ホノルルと東南アジアでリーダーシップ研修を受けたりフィールド調査を行なったりしていました。
○なぜ国連ハビタットに就職されましたか？→10 年近く福岡を離れていましたが、福岡でやりたい仕事ができないか、と思っていた時に、福岡にある国連ハビタットにちょうど空席が出たことを知り、応募しました。
○国連ハビタット福岡事務所ではどこの国の、何を担当されていますか？→モンゴル・ベトナム・ネパール・カンボジア・中国のプロジェクト管理・アシストに従事しています。国ごとにプロジェクトの内容は異なっています。
○国連ハビタットに勤務してからの印象は？→海外から赴任してきているスタッフや国内外で様々な経験を持つ日本人スタッフと一緒に仕事ができ、いつも世界を感じていられることが幸せです。
○国連ハビタットに勤務した後のキャリア予定は？→海外のフィールドで働きたい、という希望を持っています。
○今後海外のフィールドでどのようなことに携わっていきたいですか？→アジアで仕事がしたいと思っています。具体的にどんな仕事をしたいのか、どんな仕事が自分に向いているのかを現在模索中です。
○趣味、特技はなんですか？→いろんな国の料理を作るのが好きです。フィリピンのスープとか得意ですよ。
○海外でのご勤務の経験で何か得たものや見方が変わったことなどございましたらお聞かせください。
　小さなことに全然こだわらないようになりましたね。
○今後（将来）の抱負、夢は何ですか。
→今の仕事をしっかり覚えて行なっていきたいです。その次の夢は海外のフィールドで働くことです。
○あなたにとって１番大切な物、大切な事は何ですか？
→県外や海外に行って離れていた期間もあったこともあり、今は福岡で家族と過ごす時間が大切です。
○福岡の印象をお聞かせください。→18 歳までは福岡にいたのですが、その時と比べ便利に、より国際的になったなーという印象があります。

橋詰　山口　轟さん　東さん　諸藤

平日のお仕事の後、夜遅くまでインタビューに応じて頂き、本当にありがとうございました。今後のご活躍を期待しています。

■轟由紀さん

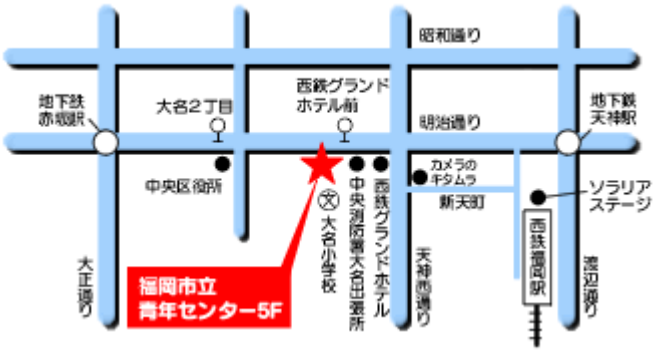
○簡単なプロフィールをお願いします。→兵庫県西宮市の出身です。関西の大学の法学部で法律や行政学を勉強した後、就職で上京しました。高校時代の１７歳の時に２年間、アメリカの高校に留学をしましたが、１７歳という多感な時期を日本とは全く違う様々な国の人と過ごしたことが原体験となり、後にイギリスで都市開発学を学ぶきっかけとなりました。帰国後、日本の ODA 機関で大規模なインフラ協力事業に関わる仕事をしていたのですが、スラム住民の移転など、居住に関して様々な課題が関わってくることを知りました。そんなときに UN ハビタットの活動を知り、2006 年 11 月から２年間、「Junior Professional Officer」としてＵＮハビタットのスリランカ事務所に赴任しました。そして帰国後の昨年の１２月に福岡本部へやってきました。
○スリランカではどのような活動をされたのですか？
→赴任の２年前に、スリランカは津波の被害を受けていて、私が赴任した時には多くの支援の手が既に差し伸べられていましたが、それが逆に住民の支援に対する依存性を増幅させていました。そこで津波の被害からの復興後に「持続可能なコミュニティ作りのための自治組織の強化」を命題に「コミュニティ内貸付制度や手に職をつけるための住民へのトレーニング」などの活動を始めました。帰国間際にコミュニティの人々がトレーニングを受けた住民の表彰式を、自発的に行ってくれた時は、これまでの苦労が報われました。
○スリランカの人々に対する印象は？→とにかくみんな優しかったですね。そして人々の絆が今の日本人より強い印象を受けました。
○現在はどのようなお仕事をされているのですか？
→私は、もっと UN ハビタットのことを皆さんに知って頂きたいと思っていますので、現在は、スリランカの時とは違って、主に文書の作成業務に携わっています。いつか国際協力の関係者が集まる日本の学会でＵＮハビタットの活動を発表したいと考えています。
○何か、モットーとしているような言葉はありますか？
→「千里の道も一歩から」です。何事も、とにかく始めて見ることです。スリランカで始めた「コミュニティ内貸付制度」は、まさにそれでした。
○今後の抱負をお聞かせください。→今後も人間居住に関わっていきたいと思います。日本の ODA にはまだまだ人間居住の専門家が少ないように思います。UN ハビタットで行っている様なことはすごく適用性があると思いますので、うまく工夫ができればいいなと考えています。
○ところで、趣味・特技は何でしょうか？→趣味は、音楽を聴くことです。特にクラシック音楽が好きです。同じアクロス福岡の中にシンフォニーホールがあるのですが、なかなか時間が取れなくてまだ一度も行ったことがありません。それから歌を歌うのも好きです。
○福岡の印象をお聞かせください。→便利で住みやすい街ですね。毎朝２０分程歩いて通勤しています。歩いて通勤なんて東京では考えられません。東京より人々に余裕があるように感じられます。歩くスピードも東京に比べると少しゆっくりのように感じられます。
○最後になりますが、轟さんにとって一番大切なものは何ですか？→家族です。家族は私にとって心の支えになっています。

■今後のスケジュール

下記スケジュールは、変更になることがありますので、メールやウェブサイトで確認ください。

5月21日（木）19：00～　定例会
　勉強会：内容未定
6月18日（木）19：00～　定例会
　ニュースレター第27号内容検討など
7月16日（木）19：00～　定例会
　ニュースレター第27号発行
8月20日（木）19：00～　定例会
　勉強会：内容未定
9月17日（木）19：00～　定例会
　地球市民どんたく準備
10月5日（月）世界ハビタットデー参加
10月10日（土）～11日（日）（予定）
　地球市民どんたく
　アクロス福岡２Ｆ交流ギャラリー
11月19日（木）19：00～　定例会
　ニュースレター第28号発行
12月10日（木）19：00～　定例会
　国連ハビタット福岡本部との交流会
　（クリスマスパーティ）
２０１０年
1月21日（木）19：00～　定例会
　勉強会：内容未定
2月18日（木）19：00～　定例会
　総会および交流会
3月18日（木）19：00～　定例会

定例会の場所は、福岡市立青年センター5Ｆ
福岡市NPO・ボランティア交流センター「あすみん」



■2009年度会費納入のお願い

ハビタット福岡市民の会は、１月より新年度に入りました。２００９年度の会費納入がまだの方は、会費納入にご協力をよろしくお願いします。特に、このニュースレターは、皆さん方の会費により発行が可能となります。今後も継続して発行できるよう皆さん方のご支援をよろしくお願いいたします。

年会費　　一般 2,000 円　学生 1,000 円
郵便振替口座　０１７３０－０－７８４３４
加入者名義　　ハビタット福岡市民の会

■事務局からのお知らせとお願い

●会員の森みち子さんより

切手のご提供をいただきました。ニュースレターの発送などに役立たせていただきます。どうもありがとうございました。

●ボランティア募集

●地球市民どんたく運営スタッフ（１名）
　活動期間　６月～１０月（当日）
　国際協力セミナーの企画など
●市民の会運営委員（若干名）
　ハビタット福岡市民の会では、ニュースレターやホームページの作成、学習会やイベントの企画・運営等、会の運営をお手伝いしてくださるボランティアスタッフ（運営委員）を募集しています。ハビタット福岡市民の会の活動にご興味のある方、何かボランティアをやってみたいという方は、ご連絡ください。一緒に楽しく活動しませんか？

●ハビタット福岡市民の会チラシ

Ａ４版の市民の会のチラシを同封します。
ハビタット福岡市民の会の PR に活用し、お友達を会員に誘いましょう！
ハビタット福岡市民の会の Website からもダウンロードできます。
URL　http://cnhf.npgo.jp

編集後記

今年の桜は長い期間楽しめましたね！
私は、３月２８日から４月２日までカンボジアを訪問してましたので、もう桜は散ってるかと思いきや、ちょっと山手では満開の桜が楽しめました。
ニュースレターは皆さんのご協力で、なんとか納期ぎりぎりで完成させることができました。次回の発行は、７月の予定ですが、少し余裕をもって完成するよう取り組みたいものです。･･･と毎回思ってはいるのですが･････　（牟田）

事務局・お問い合わせは

郵便物のあて先は：
〒810-0041　福岡市中央区大名２－６－４６
福岡市NPOボランティア交流センターあすみん連楽ボックス２号
お問い合わせは：
TEL　090-6770-2481(代表　牟田)
FAX　0942-41-2080
E-mail: cnhf@npgo.jp
URL　http://cnhf.npgo.jp